

# 令和5年度第2回学校評議員会・高校魅力化コンソーシアム 議事録

1 日 時 令和6年2月1日(木) 13:30~14:45

2 会 場 大会議室

3 参加者 学校評議員(2名)・魅力化協働パートナー(4名)

学校評議員A 出席

学校評議員B 欠席

学校評議員C 欠席

学校評議員D 欠席

学校評議員E 出席

魅力化協働パートナーF 出席

魅力化協働パートナーG 出席

魅力化協働パートナーH 出席

魅力化協働パートナーI 出席

\*欠席者の学校概況資料等は、後日郵送する。

学校側参加者(13名)

校長・事務長

(全日制) 副校長・総務主任・教務主任・生徒指導主事(課員が代理出席)

進路指導主事(課員が代理出席)

(定時制) 副校長・教務主任・生徒指導主事

(通信制) 副校長・教務主任・生徒指導主事兼進路指導主事

※上記の他、受付・記録係として、総務課員2名が同席。

## 4 次 第

(1) 開会のことば

(2) 校長挨拶

- ・10月に開催された創立100年記念式典・講演会・祝賀会等でお力添えいただいた。
- ・前回同様、学校評議員会と高校魅力化コンソーシアムを兼ねた形での開催である。
- ・高校魅力化コンソーシアムの目指す姿は、①高校生の生きる力の向上、②宮古高校の魅力を高めること、③地域・企業とのつながりをもつことである。
- ・来年度は学校評議員会を母体とした学校運営協議会を開催する。学校の基本的運営方針について協議や承認していただく。
- ・前回、生徒の声を聞きたいというご要望をいただいたことから、学校評価アンケートの中に自由記述の欄を設けた。

(3) 学校概況説明・・・会議資料による

①全日制

- ・進路状況について(進路課):資料は先週初めの数字である。この後、一般入試等を控えている。
- ・部活動状況について(生徒課):6月以降の県大会上位(ベスト8)以上をまとめたものである。運動部・文化部共に全国大会等への出場を果たしている。

- ・学校評価について（全日制副校長）：生徒集計において、23項目中14項目で肯定意見が上昇した。特に「2 宮古高校は魅力のある高校である。」「3 宮古高校に入学してよかった。」等の項目で肯定評価が上昇した。しかし、「9 探究的な学習を通して、理数分野への関心が高まった。」「10 家庭における勉強時間（1日2時間以上）を十分確保している。」「19 宮古高校の校則やきまりは妥当である。」等の項目の肯定評価は低い結果となった。自由記述について、オリンピック（体育大会）、宮高祭（文化祭）等の行事で高い満足度がある一方、校則等（スマホの使用）の見直し、週末課題の量の調整等の意見があげられた。資料7ページの、「学校満足度推移（直近10年間のもの）」では、令和2年度から順調に上昇しているといえる。年度初めに設定する重点目標の目標指数に関しては、5項目全てにおいて達成した。

#### ②定時制

- ・進路状況について（定時制副校長）：卒業予定者6名のうち進学1名、就職2名である。資料に記載されていない3名に関しては、「現在就労中の職場に継続して就労」等であり、進路達成率は100%である。
- ・部活動状況について（定時制副校長）：運動部の他に、文芸コンクールや生活体験発表会等で県上位の入賞を果たしている。
- ・学校評価について（定時制副校長）：保護者集計のうち「1 子どもを定時制に入学させてよかった。」の項目で昨年度に引き続き肯定評価が100%であった。生徒集計に関して、「3 学校生活は楽しい。」の項目の肯定評価が昨年度より減少した。さまざまな悩みをもつ生徒や、年々生徒数が減っている状況であるが、引き続き生徒に寄り添った指導をしていく。

#### ③通信制

- ・進路状況について（生徒指導主事兼進路指導主事）：卒業予定者17名（前期卒業生3名を含む）のうち、進学3名、就職4名、現業継続2名である。未定の生徒は今後専門学校等の受験を予定。他機関とも連携しながら、進路達成を目指していく。
- ・部活動状況について（生徒指導主事兼進路指導主事）：複数の運動部で全国大会出場。部員は意欲的に活動している。生活体験発表会等にも出場した。
- ・学校評価について（通信制副校長）：生徒・保護者どちらにおいても、概ね高い評価を得ている一方、肯定評価70%代の項目もいくつかある。年間30日程度実施されているスクーリングの満足度をいかに高めるかが大事と感じている。社会とのつながりを意識させるため、今年度は仕事メッセなど、生徒の職業観を高めるような活動を行った。

#### (4) 質疑応答

##### ○魅力化協働パートナーG

4ページ目の全日制学校評価について、低い項目（家庭学習）について、高校と小中学校との意見交換を行う機会はあるのか。また、校則等の不満があるようだが、具体的にどのような項目か。また、地域連携について教えていただきたい。

A（学習に関する意見交換会について）学習という観点ではなく、生徒指導の観点で年1回宮古地区で行なっている。来年度、高校の授業を中学校の先生方にお見せする機会をつくりたいと考えている。その際に、意見交換の場を設けたいと考えている。その他、小・中学校から授業公開の案内等をいただくことがある。

（校則について）学校行事等のスマホ使用の許可、髪型等と考えられる。適切な基準を定めるのは難しいと感じているが、時代に合わせて変化させていくことと、就職や進学など、外にでて恥ずかしくない格好とを両立する必要があると考えている。

(地域連携について) 総合的な探究の時間(週1時間)という授業があり、1学年は地域、2学年は社会、特にSDGsと関連づけて活動している。昨年度はコロナ禍等による制約が大きかったが、今年度から少しずつ外部(市役所等)との連携を再開している。その他、定時制においては陶芸教室や学校設定科目「生きる力」、商店街訪問等の実施、通信制においては企業訪問等を実施している。

#### ○魅力化協働パートナーH

全日制学校評価において、「9 探究的な学習を通して、理数分野への関心が高まった。」の肯定評価が低いとのことだが、現代において、文理融合的な感覚が必要となる。背景や数値を上げる取り組みについて伺いたい。

A特に数値が低いのが1年生である。「地域」をテーマにしているが、中盤に復興教育を行った。復興教育の終わり頃の12月にアンケートを実施した。現在は、「脱炭素化」をテーマにデータ活用等を行っており、アンケートを実施する時期が3月に変われば結果も変わると考えられる。総合的な探究の時間以外にも、データ活用や数的処理など教科横断的に実施する予定である。次年度は、2学年で海洋教育を行う方向で検討している。

#### ○学校評議員A

部活動について、少子化により生徒、教員ともに減っている。中学校でも高校入試の方式変更等の影響を受け、部活動のモチベーション維持に苦慮している。宮古高校は文武両道を掲げているが、今後の方針をどのように考えているのか。

A大学受験に関しては、部活動の実績等を評価していただく機会がある。本校はヨット部や空手道部など、中学校にはない部活が例年全国大会等に出場している。宮古地区の中学校に存在する競技の部活動も盛り上げていくことも必要だと考える。引き続き文武両道を掲げ、部活動にも力を入れていきたいと考えている。(生徒課)

大学入学だけではなく、生徒の人生を考えると、勉強以外の場面でコミュニケーションをとりながら目標を達成することが大事だと考えている。勉強以外に力を入れるものを1つ見つけて欲しいと思っている。部活動以外にもボランティアや生徒会活動、郷土芸能活動などが挙げられる。上記のような意味合いで、文武両道という言葉を残していきたい。(校長)

#### ○魅力化協働パートナーF

最近校則を変更したのはいつで、どういった内容か。校則は時代時代で柔軟に変えていくべきものであり、可能であれば毎年見直していただきたい。生徒、教員、地域の方等の意見を取り入れながら、決めていくべき。ゼロベースで考えるやり方もある。また、家庭学習について、やれと言われたものを行っている生徒が多いと思う。生徒の課題は人それぞれ異なっており、生徒が自分の課題を把握していないから、自分から勉強しようという気持ちにならないのではないか。面談等を密にとり、生徒一人ひとりに合った学習プログラムを考えていくことが理想と感じる。

AICTを1・2学年で取り入れている。スマホ等へそれぞれに合った最適な教材が送られてきているシステムである。アンケートを「授業外」とすれば数値は上がると考えられる。

(5) 学校評議員・魅力化協働パートナーから

○学校評議員D

学習習慣について、勉強時間が少ないということは、かなり前から言われていたことである。同地区の小・中学校も同様の課題があり、部活動や課題の量が多いという意見が以前から言われていた。震災があったとき、自分の将来の夢について子どもたちに考えさせ、自分のやることを自分に決めさせたことがあった。大事なことは「自主性」と考える。宮古高校の生徒を見ると、そのような姿勢がついている生徒、ついていない生徒とさまざまあるように感じている。高校でなんとか力をつけさせてほしい。

○魅力化協働パートナーF

生徒としっかりコミュニケーションをとりつつ、進めていってほしい。

○魅力化協働パートナーG

学校評価の実施は業務量が膨大であると察するが、貴重なデータであるので、ぜひ続けてほしい。

○魅力化協働パートナーH

卒業生をみていると、3年間充実した生活を過ごしたように察している。学習面のみならず、生徒が充実した生活を送れるよう引き続きご指導をお願いしたい。

○魅力化協働パートナーI

沿岸部の人口減少は引き続き進んでいる。地域の魅力を感じられるようなカリキュラムの設定をお願いしたい。宮古高校卒業生が大学卒業後に地元に戻ってきてくれることが大切だと感じている。卒業生の最終的な就職先を知りたいが、情報がこちらに入ってくるようネットワークの構築をお願いしたい。

(6) その他

(7) 閉会のことば